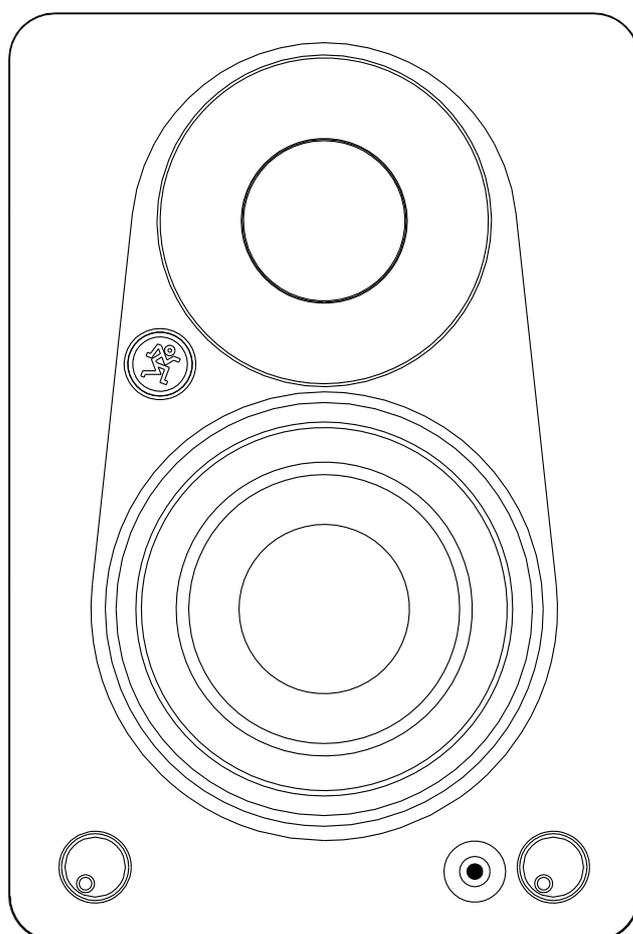
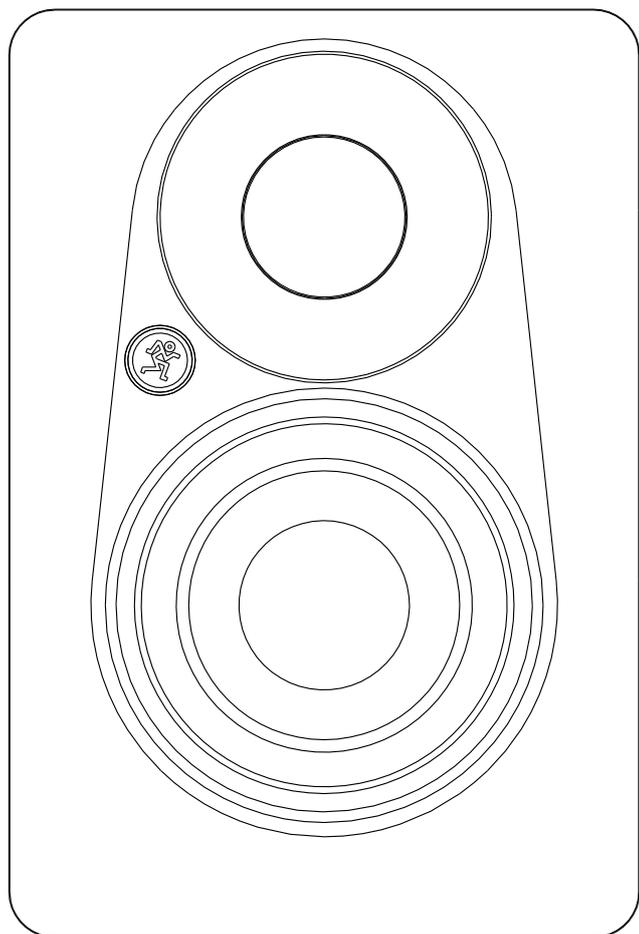


CR3.5 BT · CR4.5 BT · CR5 BT · CR8 BT

CREATIVE REFERENCE MONITORS WITH BLUETOOTH



クイックスタートガイド



安全のために

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	<p>「必ず守ってください」という強制を表しています。</p>		<p>「絶対にしないでください」という禁止を表しています。</p>
---	---------------------------------	---	-----------------------------------

 **警告** この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。

-  **本書を全て読むこと**
この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。
必ず実行
-  **移動するときはケーブルを全て抜くこと**
電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。
必ず実行
-  **水分をかけたり湿気にさらさないこと**
この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。
禁止
-  **本体内部に液体や物をいれないこと**
火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。
禁止
-  **電源コードや接続ケーブルは安全に配置すること**
電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。
必ず実行
-  **改造を行わないこと**
決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。
禁止
-  **本体を落下しないこと**
本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。
禁止
-  **電源コードを濡れた手でさわらないこと**
感電の原因となる場合があります。
禁止
-  **異臭や異常を感じたら修理を依頼すること**
正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。
必ず実行
-  **長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜くこと**
火災や感電、故障の原因になる場合があります。
必ず実行
-  **専用電源コードは仕様に適合した電源に接続すること**
適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。当モデルは100V専用モデルです。日本国外では使用できません。
必ず実行
-  **電源コードは必ずこの製品に付属のものを使うこと**
適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。
必ず実行
-  **大音量で使用しないこと**
この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。
禁止
-  **他の機器と接続するときはこの製品の電源を切っておくこと**
接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。
必ず実行
-  **長時間にわたってヘッドフォンで大きな音量を聴かないこと**
一時的または恒常的な難聴になる場合があります。
禁止
-  **電源ソケットに手が届くよう設置すること**
この製品の背面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源ソケットに簡単に手が届くよう設置してください。
必ず実行

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



このスピーカーを吊り下げないこと
製品が落下して、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。このスピーカーは吊り下げて使うようには設計されていません。



本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと
ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。

**注意**

この記号は取り扱いを誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること
本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと
この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないでください。本体が故障する原因になります。



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと
本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。



テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと
この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること
定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する場合があります。特に歪にはご注意ください。



この製品に付属している電源コードをほかの電気用品に使用しないこと
この製品に付属している電源コードはこの製品専用のもので、ほかの電気用品には絶対に使用しないでください。



禁止

高温になる場所に設置しないこと
直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもうそくなど裸火を置かないでください。



必ず実行

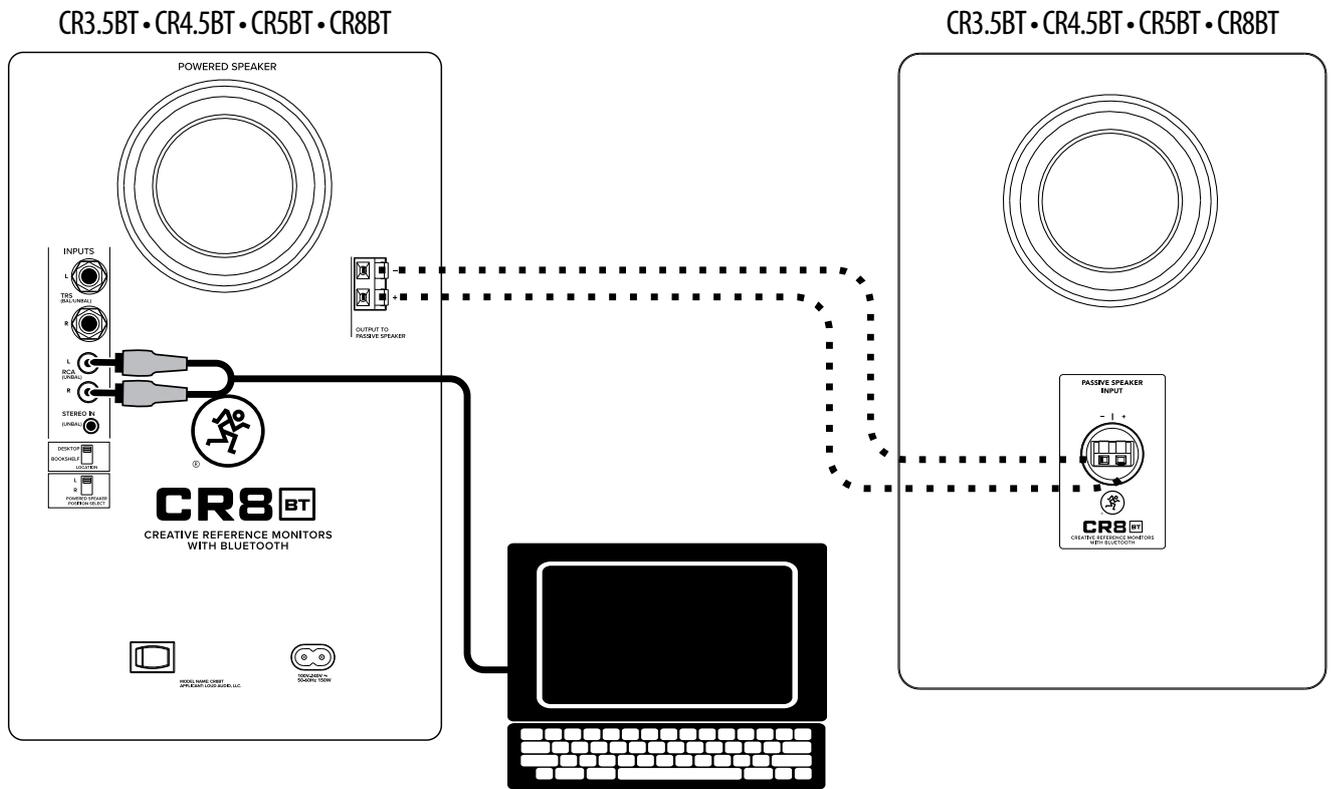
長時間使用しない場合はリアパネルの電源スイッチをオフにすること
フロントパネルにあるボリュームノブでは、電源を完全にオフにすることはできません。リアパネルの主電源スイッチをオフにすることにより、製品の寿命を延ばすことができます。

クイックスタート

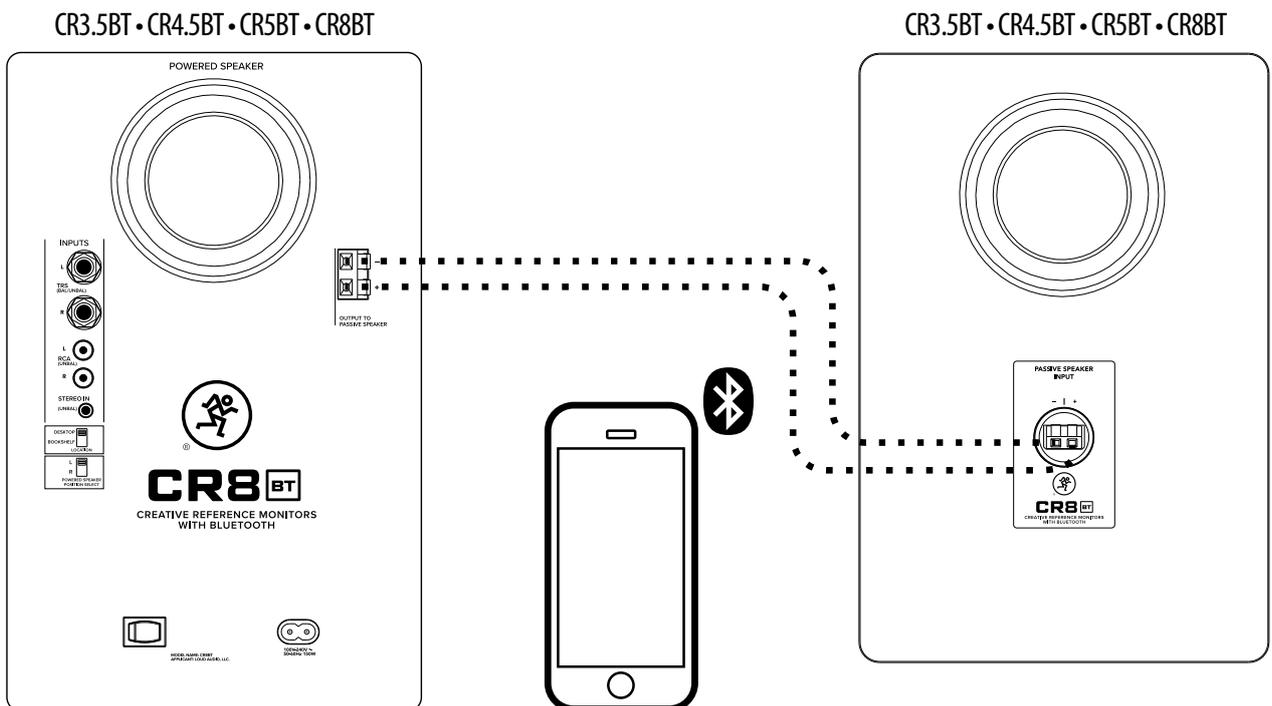
1. P.2 ~ P.3 の重要な安全上の注意を必ず読んでください。
2. 全ての機器の電源を OFF にした状態で配線をします。フロントにあるボリュームノブは反時計回りに完全に回しきった状態 (OFF の状態) にしてください。
3. 付属の黒 (-) および赤 (+) のスピーカーケーブルを、パワードモニター の ± スプリングクリップからパッシブモニター の ± スプリングクリップに接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。当モデルは 100V 専用モデルです。日本国外での使用はできません。
5. コンピューターやタブレット等 Bluetooth デバイスの電源を入れます。
6. スピーカーの電源を入れます。[リアパネル電源スイッチ]
7. CR BT シリーズのスピーカーフロントパネルの Mackie アイコン[®]を長押しし、ペアリングモードにします。接続したい Bluetooth デバイスの【設定】→Bluetooth より CR BT を選択してし、ペアリングを行ってください。
8. 音源を再生し、Bluetooth デバイスの音量を上げます。フロントパネルのボリュームノブをゆっくりと回し、心地よい音量に調整します。

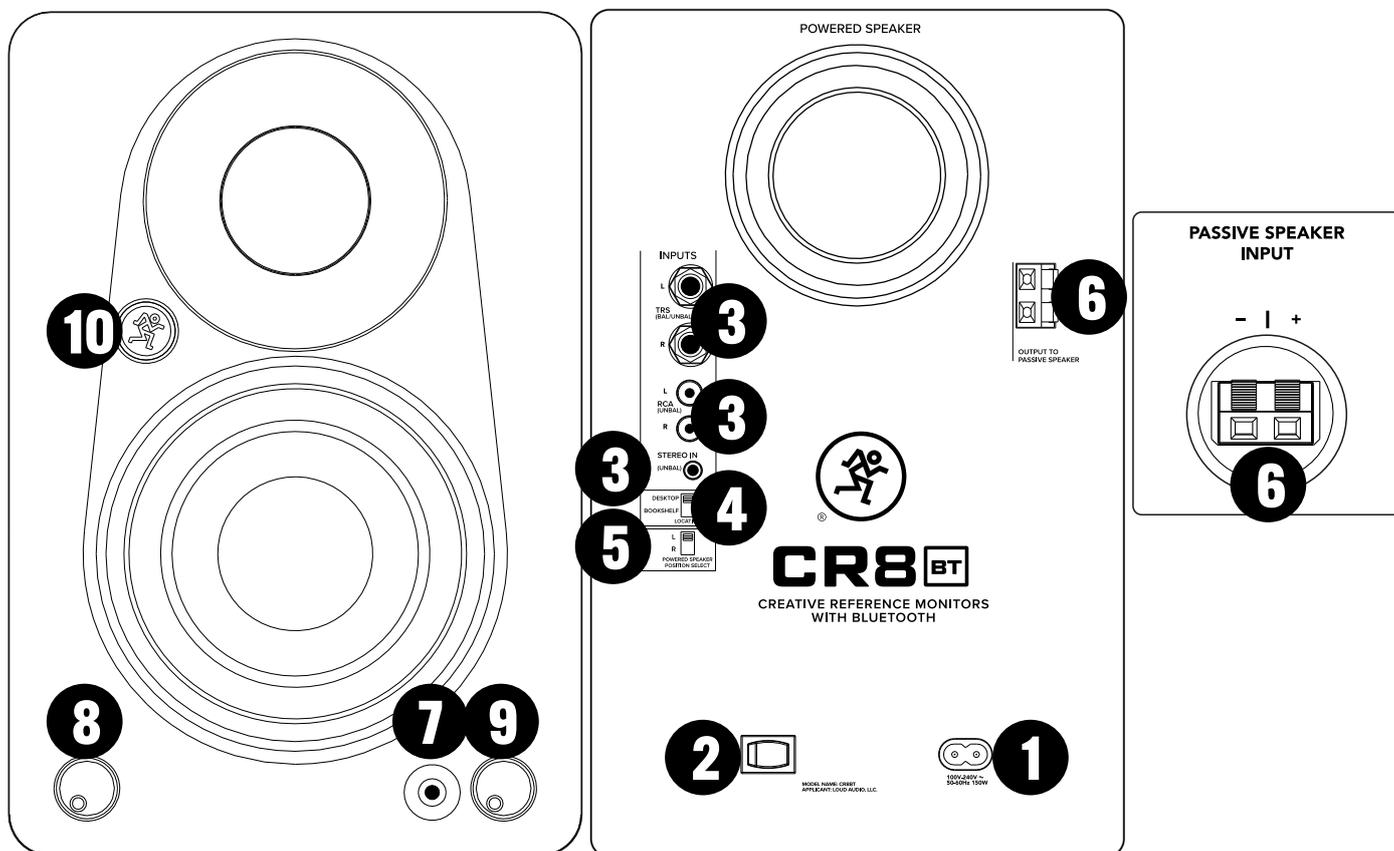
接続図

スピーカー接続図



Bluetooth スピーカー接続図





フロント&リアパネルの説明

- 電源端子** 同梱の電源コードをこの端子に接続します。
- 電源スイッチ** モニタースピーカー電源の ON / OFF を操作します。電源が入るとフロントパネルの Running Man の周りが白く光ります。Bluetooth が接続されたときには緑に光ります。
- INPUTS** コンピューター、ミキサー、スマートフォンなどの音源からのライン出力をこの入力端子に接続します。
- LOCATION** モニタースピーカーの設置位置が近いときに上に (DESKTOP)、遠いときに下に (BOOKSHELF) スイッチを入れます。
- POWERED SPEAKER POSITION SELECT スイッチ** パワードモニターが左にあるときに上に (L)、右にあるときに下に (R) スイッチを入れます。
- PASSIVE SPEAKER INPUT** 付属の黒 (-) および赤 (+) のスピーカーケーブルを、パワードモニターの ± スプリングクリップからパッシブモニターの ± スプリングクリップに接続します。
- ヘッドフォン出力端子** ステレオヘッドフォンをこの端子に接続します。ヘッドフォンを接続するとスピーカーからの音は遮断されヘッドフォンのみから音が聞こえるようになります。
- トーンノブ** このノブを回し、再生音のトーンを変えます。左に回しきった状態でフラットな周波数特性になります。右に回していくと、低音の存在感が向上し、広域はよりきらびやかになっていきます。はじめはセンターの位置でお試ください。
- ボリュームノブ** モニタースピーカーの出力レベルを調整します。さらにモニタースピーカーの ON / OFF としても使用できます。ただしこのノブを下げ切っても主電源は OFF にできません。長時間使用しない場合は②の電源スイッチを OFF にしてください。
- Bluetooth** Bluetooth で接続する際に、このボタンを長押しします。最後に Bluetooth 接続した機器と再度接続する場合には、このボタンを素早く押します。Bluetooth 接続中にこのボタンを押すと、一時停止 / 再生 の操作ができます。静電気放電が起こると、Bluetooth 接続が解除される場合があります。

製品仕様

	CR3.5BT	CR4.5BT
周波数特性 (-10 dB)	60 Hz - 20 kHz	55 Hz - 20 kHz
最大 SPL ピーク	100 dB	101 dB
トータルパワー	50 W RMS クラス AB アンプ	
クロスオーバー周波数	3.0 kHz	
入力	メス 1/4 インチ バランス / アンバランス RCA アンバランス 1/8 インチ アンバランス	
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング	
電源要求	100V-240V ~ 50-60 Hz 60W	
寸法 (H × W × D)	206 x 140 x 180 mm / 本	226 x 155 x 211 mm / 本
重量	3.7 kg / ペア	4.5 kg / ペア

CR5BT	CR8BT
50 Hz – 20 kHz	44 Hz – 20 kHz
105 dB	108 dB
100 W RMS クラス D アンプ	140 W RMS クラス D アンプ
3.0 kHz	2.0 kHz
メス 1/4 インチ バランス / アンバランス RCA アンバランス 1/8 インチ アンバランス	
5.0 オーディオストリーミング	
100V-240V ~ 50-60 Hz 110W	100V-240V ~ 50-60 Hz 150W
262 x 175 x 236 mm / 本	376 x 251 x 345 mm / 本
6.9 kg / ペア	16.0 kg / ペア

製品の仕様は予告なく変更することがあります。

修理 / 保証 / サポートについて

修理について

日本国内仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- ・弊社ホームページ (www.otk.co.jp) の「修理依頼」より「REPAIR カード」をダウンロードしてください。「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、FAX (03-5534-6783) もしくはメール (repair@otk.co.jp) でお送りください。折り返し修理受付番号と製品送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- ・オーナーズマニュアルと電源コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- ・本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- ・修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。
- ・修理状況によっては見積もり金額が変動する場合があります。
- ・修理をキャンセルした場合、キャンセル料が発生する場合があります。予めご了承ください。

保証

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。

保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ・ご購入後の輸送 / 移動 / 落下 / 異物液体混入などによる故障および損傷
- ・ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- ・火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- ・本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- ・正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ・日本国外でご使用中の故障、損害

サポート

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは以下の通りです。

音響特機 Mackie カスタマーサポート

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1 CSS ビルディング 5F

FAX: 03-3639-7801

Email: support_mackie@otk.co.jp

故障 / 修理や保守についてのお問い合わせは以下の通りです。

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1 階 B 棟

株式会社日本システムサービス内

FAX: 03-5534-6783

Email: repair@otk.co.jp

営業日: 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日: 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

www.mackie-jp.com

